

これまでは、20世紀型

「人生65年」時代 = 2世代 (青少年+中年)+α(高年)型 定年余生社会

これからは、21世紀型

「人生90年」時代 = 3世代 (青少年+中年+高年)同等型 現役長生社会

[丈風の会]

堀内正範 web「月刊丈風」編集人 朝日新聞社社友

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 9 3 4 0 - 8

Tel & Fax 0475-42-5673 Keitai 090-4136-7811

E-mail mhori888@ybb.ne.jp web「月刊丈風」「丈風の会」<http://jojin.jp/>

blog 「らうんじ・茶王樹・南九十九里から」<http://myhp.ne.jp/chaoju/lounge>



◎趣意

☆新世紀の「人生90年(65+25年)時代」の高齢者は、「現役長生」の意識を持って、**3世代(青少年~30+中年~60+高年~90歳)同等多重型**の人生をすごすことが要請されています。4人にひとり、3200万人に達した高齢者(65歳以上)が、いまある社会にプラスして「成長+成熟社会」を形づくるオールジャパンの事業に取り組むこととなります。

☆だれもが安心して暮らせる「**地域生活圏**」(共生・共助の文化圏)をこしらえるために、これまで培ってきた「健康・知識・技術・資産」を活かして、これまでなかった「モノ・居場所・しくみ」を創り出すこと。国連が提唱する「高齢者五原則」(自立・参加・ケア・自己実現・尊厳)に則って、国際的に誇れる「日本長寿社会」を達成すること。

☆わたしの場合は経験を活かしてweb「月刊丈風」という情報拠点を定めて、烽火をあげました。「丈風の会」は大丈夫(丈人)の気概をもって生きる人びとみんなの居場所です。

◎活動の細目



- ①高齢社会活動の情報を仔細に伝える拠点web「月刊丈風」の発行。
- ②セミナー「人生90年時代」や人生論『丈人力のススメ』の執筆。
- ③まちづくりのための知識・技術を習得する「地域高年大学」の推進。
- ④高齢期を豊かにする地産品やサービスの企画・制作・展示・販売。
- ⑤「長寿社会」の居場所・しくみの形成。専任職員、専任大臣の設置。

[丈風の会名簿] 201 年 月 日記入

お名前

生年月日

あれば専門分野

住所 〒

E-mail

Keitai

Tel & Fax

ご記入の上、メール mhori888@ybb.ne.jp か Fax 0475-42-5673 で返送をお願いします。

吾聞、富貴者送人以財、仁人者送人以言（老子の言『史記』）

吾れ聞く、富貴なる者は人に送るに財を以ってし、仁人なる者は人に送るに言を以ってす

高齢者の高齢期の実人生は、現役政治リーダーには理解しがたいものようです。

鳩山さん、菅さん、野田さん、そして安倍さん、どなたも高齢者といえ、介護・医療・認知症、年金、遺産相続といった「支えられる高齢者」のことしか認知できないようです。

いまや3200万人のうち8割までは健丈であり「支える側の高齢者」です。一人ひとりが「日本高齢社会」の初代として、新しい歴史を刻んで生きています。

20世紀後半の社会

21世紀初頭の社会

- ・「人生65年時代」 → ・「人生90年時代」（65+25年人生）
- ・支えられる高齢者 → ・支える側の高齢者・現役シニア・昭和丈人
- ・「成長力」の時代 → ・「成長・成熟力」の時代
- ・夫婦子育て・一人暮らし高齢者 → ・三世代同居・隣居・近居 家族・地域総出で子育て
- ・施設（病院）で終末 → ・地域包括ケア 地域・自宅で「寿終正寝」
- ・還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・・・ → ・賀寿期五歳層ステージ
- ・自閉的地閉の高齢期 → ・自立・参加・ケア・自己実現・尊厳（高齢者五原則）
- ・少子・高齢化社会 → ・多子・超高齢社会・長寿社会
- ・ピラミッド型・瓢箪型人口構造 → ・つりがね型人口構造
- ・団塊世代（昭和22～24年生） → ・平和団塊世代（昭和21～25年生）
- ・青少年期に能力養成 → ・高齢初期（60～65歳）に2回目の能力養成
- ・生きがい生涯学習 → ・まちづくり・地域大学校

「丈風の会」の活動を確立するために、ご支援ください。

◎1 「月刊丈風」購読支援会員。年間購読：野口英世幣1 最新「[丈風](#)」2014年11月号pdf

◎2 「丈風の会」活動支援会員。年間：福沢諭吉幣1（「丈風」の購読料を含む）
「活動支援会員」は地域で「丈風の会」として活動して下さると最良です。

◎3 「丈風セミナー」は「人生90年時代をこう生きる」を共同主催します。
受講料は1コイン。約120分。セミナー資料は講演者が用意します。
主催者に公的機関が加わる場合は主催者側の事情にまかせます。
東京駅からの交通費は主催者をお願いします。
収益は主催者・講演者均等に活動資金とします。

購読支援・活動支援（寄付も可）の 振り込み先 は

三菱東京UFJ銀行築地支店 普通口座 「丈人丈風の会」
ジョウジンジョウフウノカイ 1192946 (いいくに君子録) へ。

[紹介会員] 201 年 月 日記入 紹介者

お名前 生年

住所 〒

E-mail Tel & Fax

memo（専門分野など）：

ご記入の上、メール mhori888@ybb.ne.jp か Fax 0475-42-5673 で返送をお願いします。